

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		ラテン・アメリカ現代社会論 Latin America at Present			担当者所属 職名・氏名		東南アジア地域研究研究所 教授 村上 勇介		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水2		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
「ラテンアメリカの政治と社会」 日本にとって、どちらかといえば馴染みのうすい中南米あるいはラテンアメリカと総称される地域を対象に、その政治と社会の特徴について論ずる。歴史的な背景や経済面での構造的制約条件をふまえつつ、またその中で形成されてきた社会と文化にも着目しながら、現代の情勢と動向について考える。ラテンアメリカ全体の概説を行うことに主眼をおく。ラテンアメリカや政治学についての基礎知識がないことを前提に講ずる。									
[到達目標]									
・ラテンアメリカという地域にかんする最低限の事柄を理解する。 ・ラテンアメリカを起点として、海外のほかの地域や日本のことを考える。									
[授業計画と内容]									
以下のような課題について、1課題あたり1～3週の授業をする予定である。詳細は初回の授業で説明する。 1．授業概要説明・序論 2．ラテンアメリカという地域 3．ラテンアメリカの自然と人 4．ラテンアメリカの歴史 5．ラテンアメリカの社会 6．ラテンアメリカの経済 7．ラテンアメリカの政治									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
試験と平常点の合計評価による。両者の比重は前者1/2、後者1/2とする。 ・試験 - 小論文形式で、最終の授業時間に実施。試験問題の趣旨は、授業期間の前半のあいだに発表する。何でも持ち込み可とする。 ・出席 2回目以降の授業で出席をとる。なお、正当な理由によりやむを得ず欠席した（する）場合は、事前あるいは事後速やかに必ず担当教員に申告すること。									
----- ラテン・アメリカ現代社会論(2)へ続く↓↓↓									

ラテン・アメリカ現代社会論(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

・日常生活に現れる「ラテンアメリカ」にちょっと関心をむけてみてください。

[その他(オフィスアワー等)]

・出席を正確に把握するため、80人を上限とする履修制限を行う。

[主要授業科目(学部・学科名)]